

塩ビ製可撓管継手 施工要領書

ZEV-1000



施工手順

1. 作業前の確認

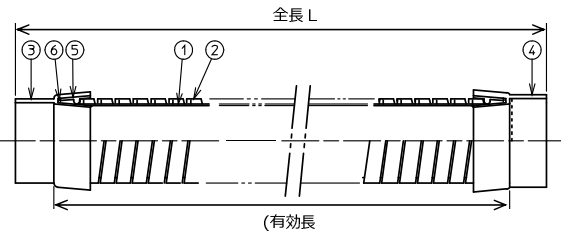


表1 部品表

品番	部品名	材質
1	内チューブ	軟質塩ビ(PVC)
2	外チューブ	硬質塩ビ(PVC)
3	ソケット(挿型)	硬質塩ビ(PVC)
4	ソケット(受型)	硬質塩ビ(PVC)
5	ロックリング	硬質塩ビ(PVC)
6	シールゴム	EPDM

施工前に次の事項についてご確認下さい。

- 口径、長さが適正か
- 接着面に損傷が無いかわりやへこみがないか

2-1. 接着剤の塗布及び接続 (塩ビソケットとZEV-1000との接続)

②塩ビソケット ①ソケット (挿型)

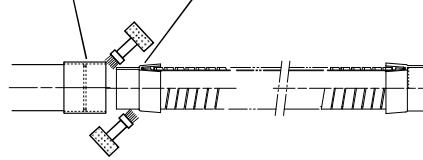


表2 差込深さ

口径	差込(挿)
50	30
75	40
100	50
125	70
150	84.5

接着剤を①塩ビソケット受け口(内面) ②ZEV-1000ソケット (挿型) 両方にムラなく塗布する。

※接着剤の塗布は①→②の順番で行って下さい。



接着剤塗布後、表2の寸法位置まで速やかに挿入し、戻らなくなるまで保持する。はみ出した接着剤は拭き取る。

※ZEV-1000の取付には方向性があります。製品端部に貼付された「上流側」シールをご確認の上、取り付けて下さい。

2-2. 接着剤の塗布及び接続 (塩ビ管とZEV-1000との接続)

②ソケット(受型) ①塩ビ管

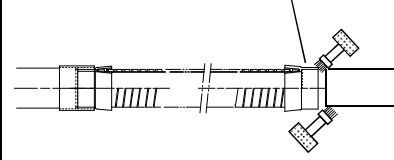
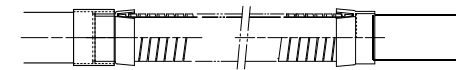


表3 挿入深さ

口径	差込(受)
50	25
75	40
100	50
125	65
150	80

接着剤を①ソケット受型(内面)と ②塩ビ管の外面両方にムラなく塗布する。

※接着剤の塗布は①→②の順番で行って下さい。



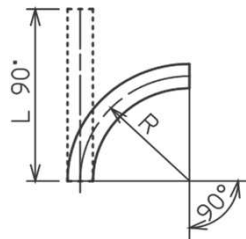
接着剤塗布後、表3の寸法位置まで速やかに挿入し、戻らなくなるまで保持する。はみ出した接着剤は拭き取る。

※ZEV-1000の取付には方向性があります。製品端部に貼付された「上流側」シールをご確認の上、取り付けて下さい。

標準寸法

口径	有効長		ソケット差込代		全長 L	最大製作長
	l	受	挿	挿		
50	400	25	30	455	4000	
75	500	40	40	580	4000	
100	600	50	50	700	4000	
125	800	60	70	930	4000	
150	1000	80	84.5	1165	4000	

曲げ半径と90°曲げに必要な有効長



口径	必要長	曲げ半径
	L _{90°}	R
50	510+15	320以上
75	770+25	490以上
100	930+30	590以上
125	1030+40	650以上
150	1200+50	760以上

※Rは許容曲げ半径
※必要長 L_{90°}はチューブを90°曲げるのに必要な有効長です。

注意事項

- 本製品は雨水・排水専用です。圧力配管には使用しないで下さい。
- 製品に貼付してある「上流側シール」に従い設置して下さい。
- 接着接続の施工前に、本製品と接続先のパイプ・継手との適合性をご確認下さい。
- 埋設される場合は、がれきや碎石など本体を傷つけるものは排除して下さい。また土砂の締め固め時に本体に損傷を与えないで下さい。
- 圧縮や引張った状態の施工及び無理な曲げを行わないで下さい。
- 受型ソケットに挿入する塩ビ管の外径は、右表のマイナス公差以内のものをご使用下さい。

呼び径	塩ビ管外径	
	基準寸法	マイナス公差
50	60	-0.2
75	89	-0.3
100	114	-0.3
125	140	-0.4
150	165	-0.5